

様式第 1 の 2 （第 1 条の 6 関係）

(1) 危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 消防長 殿				(2) 年 月 日	
申請者 (3)				(電話)	
住所 氏名					
危険物の 所有者、管理者 又は占有者 (4)	住所	電話 ()			
	氏名				
仮貯蔵・仮取扱い の場所 (5)	所在地 ・ 名称				
危険物の類、品名及び最大数量 (6)			指定数量 の倍数	倍	
仮貯蔵・仮取扱いの方法		(7)			
仮貯蔵・仮取扱いの期間		(8) 年 月 日から 年 月 日まで 日間			
管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)		(9)			
現場管理責任者 (10)	住所	緊急連絡先 ()			
	氏名	【危険物取扱者免状：有（種類： ）・無】			
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び 期間経過後の処理		(11)			
その他必要事項		(12)			
※ 受付欄		※ 経過欄		※ 手数料欄	
		承認年月日 承認番号			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

危険物仮貯蔵仮取扱い承認申請書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1)申請種別	仮貯蔵，仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は，実施しない申請を二重線で抹消します。
(2)年月日	申請書を提出する年月日を記入します。
(3)申請者	申請者の住所，会社名，氏名，電話番号を記入します。
(4)危険物の所有者，管理者又は占有者	仮貯蔵又は仮取扱い（以下「仮貯蔵等」という。）を行う危険物の所有者，管理者又は占有者について記入します。
(5)仮貯蔵・仮取扱いの場所	仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入します。
(6)危険物の類，品名及び最大数量・指定数量の倍数	危険物の類，品名，仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入します。
(7)仮貯蔵・仮取扱いの方法	仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入します。（例）200 リットルの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し，手動ポンプを用いてドラム缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。
(8)仮貯蔵・仮取扱いの期間	仮貯蔵等の期間が 10 日以内となるように年月日及び期間を記入します。
(9)管理の状況	標識等の掲示，バリケードの設置，消火設備や警報設備の設置等，危険物の管理方法や消火・監視体制等を具体的に記入します。
(10)現場管理責任者	現場管理責任者の会社住所，氏名及び緊急連絡先を記入します。危険物取扱者免状を取得している場合は種類を記入します。 なお，危険物取扱者が作業に従事する場合は，危険物取扱者免状の写しや氏名及び資格の種類等を記載した書類を添付します。
(11)仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	仮貯蔵等を行う理由及び期間経過後の処理の方法を記入します。
(12)その他必要事項	特記すべき内容を記入します。 (例)①危険物取扱者が立会いをする。 ②金属携行缶による給油は，この場所で行わない。

※各欄の記入事項を別紙にて添付することもできます。その際，別紙のとおりと記入します。